

財団法人日本民藝館 平成20年度事業計画

1. 特別展計画

◆ 春期陳列【琉球の織物】

期間：平成20年4月1日(火)―6月8日(日)

内容：本展は、柳宗悦が戦前の沖縄を訪れて蒐集した、当館所蔵の沖縄織物の優品を展示致します。

*会期中の講演会開催予定

「琉球の布によせて」講師：柳悦州氏（沖縄県立芸術大学教授）日時：5月31日（土）18時より

◆ 夏期陳列【陶匠・濱田庄司―没後30年記念―】

期間：平成20年6月17日(火)―8月31日(日)

内容：本展は、当館の2代目館長であった陶匠・濱田庄司の没後30年を記念する特別展を致します。

*会期中の講演会開催予定

対談「濱田庄司氏を語る」瀧田項一氏（陶芸家）・濱田晋作氏（益子参考館館長）日時：7月中旬の土曜日 18時より

◆ 秋期陳列【朝鮮時代の鍵と錠―ソウル・スウェッチェ博物館蔵品による―】

期間：平成20年9月9日(火)―11月20日(木)

内容：本展は、韓国のソウル・スウェッチェ博物館が所蔵する朝鮮時代の鍵の美を展示致します。

*会期中の講演会開催予定

「朝鮮時代の鍵と錠展によせて」講師：Hog-Gyu Choi 氏（スウェッチェ博物館長）日時：9月上旬の土曜日 18時より

◆ 平成20年度【日本民藝館展 ―新作工芸公募展―】

期間：平成20年12月6日(土)―12月20日(木)

内容：本展は、新作工芸品を展示・頒布する恒例の公募展。本年度は大展示室にて入選作品を展示いたします。

◆ 冬期陳列【大津絵と泥絵 ―日本の民画―】

期間：平成21年1月6日(火)―3月22日(日)

内容：本展は、日本民画の一分野を構成する大津絵と泥絵を中心に展示し、その魅力を紹介致します。

*会期中の講演会開催予定

「日本の民画について」講師：水尾比呂志氏（日本民藝協会会長）日時：1月31日（土）18時より

2. 民藝の普及・啓蒙推進事業

1) 他の美術館及び民藝館への所蔵品貸出による民藝の普及活動

日本民藝館の所蔵品を各地の美術館に貸出を行い民藝の振興に取り組む。

(平成20年1月現在要請を受けている予定出品先)

- ・高麗美術館 : 展示名「愉快的クリーム-朝鮮民画」
- ・大阪日本民藝館: 展示名「浜田庄司展」
- ・京都国立美術館・東京美術館・愛知美術館: 3美術館巡回展
展示名「生活と芸術-アーツ&クラフツ展」-ウィリアム・モリスから民芸まで-
- ・ブランリー美術館(仏) 展示名「Esprit Mingei an Japon」

2) 「柳宗悦全集・書簡」の一環として、新たに柳宗悦の書簡に関する企画・出版

3) 他美術館及び関係団体への講師・講演活動

- ・日本民藝協会全国大会における講演(講演:学芸員)
- ・日本民藝協会夏季学校における講義(講師:学芸員)

4) 博物館実習生の現場教育の機会提供

博物館学芸員の資格を習得する単位として、現場の実習を設けている大学に対して、博物館実習プログラムを実践できる機会を学生に積極的に提供する。

- ・実習生数:約15人程度
- ・実習期間:10日間(講義4日、実務実習6日)

5) 「日本民藝館友の会」会員への情報提供

- ・友の会会員を主たる対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。
- ・友の会情報「民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。

6) 小学校との連携事業

私立桐朋学園小学校および私立武蔵野東小学校などに対して、美術鑑賞教育の企画・運営を行う。

7) 旧柳宗悦邸の一般者利用公開の促進

- ・関係団体、協力者への室内利用の公開を継続する。
共同研究会の推進 「テーマ『民藝辞典』制作にむけて」
目的:「民藝」に関する語彙や人名等について調査・整理し、将来的には辞典の発行へと繋げる。
さしあたりの成果は、民藝協会のホームページ上の民藝運動史年譜に反映させていく
- ・邸内に故柳兼子夫人の記念室を新規に開設する。

3. 民藝の工人育成事業

・日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

会期:平成20年12月6日~12月20日(10日間)

出展:民藝の物作りの製作者および協力製作者を対象とした新作工芸品の公募をおこない、日本民藝館展として審査・表彰・展示を通して伝統的な民藝の普及に取り組む。

4. 広報・研究推進事業

1) 所蔵品の原版デジタル化に伴う画像データベースの構築

- ・所蔵品の原版ネガフィルム・ポジ約 2000 点の画像 DT ファイルに所蔵品目録情報を付加し画像データベースを構築する。
- ・画像データベース構築により館内ネット検索およびホームページにて所蔵品の情報開示に取り組む。

2) 所蔵品の管理と目録情報の整備

- ・所蔵品の目録情報と所蔵品管理一覧を一元化（電子化）する。

3) 柳宗悦の蔵書の展示・閲覧化に向けた書籍の整備

- ・平成 19 年度未着手の柳宗悦の蔵書の整備を順次おこない、将来図書資料として展示及び閲覧を可能にする環境整備を行う。

5. 国際文化交流事業

- ・国際文化交流の一環としてフランスの「ブランリー美術館」に館の所蔵品出品の特別協力をおこなう。又、韓国ソウル・スウェッテ博物館の所蔵品を日本民藝館にて秋期特別展を開催する。

① 出品先：ブランリー美術館（仏）

会期 : 2008 年 9 月 30 日～2009 年 1 月 18 日

出品点数 : 約 110 点

② 日本民藝館の秋期特別展として、ソウル・スウェッテ博物館の特別協力により「朝鮮時代の鍵と錠」を開催する。

会期：平成20年9月9日（火）—11月20日（木）

6. 日本民藝館施設の整備

日本民藝館の来館者に対して、最良な鑑賞空間と安全で快適なサービスを提供する。

- ・建造物の耐震診断に基づき耐震補強工事を順次行う。
- ・本館展示施設の歩行安全性・バリアフリー化に取り組む。

7. 所蔵品の維持保存の促進

- ・所蔵品の品質維持のための修復と保存。

所蔵品の品質維持を図るため修復・改装を計画的に行う。

修復対象作品名

- | | | |
|--------|-----|-------|
| ① 日本絵画 | 4 点 | 改装 |
| ② 朝鮮絵画 | 2 点 | 改装、軸先 |
| ③ 棟方志功 | 1 点 | 改装 |

など

以上